

沖縄の「自然の恵みの豊かさ」を地域とともに未来につなぐ、『つなご・みらいアートプロジェクト』を始動  
株式会社オーエスディー、スターバックス コーヒー 那覇鏡原店  
漫湖水鳥・湿地センター管理運営協議会の 3 者が協働

株式会社オーエスディー[沖縄県中頭郡北谷町、代表取締役:久高唯明]、スターバックス コーヒー ジャパン株式会社[本社所在地:東京都品川区、代表取締役最高経営責任者(CEO):森井久恵]、漫湖水鳥・湿地センター管理運営協議会(環境省、沖縄県、那覇市、豊見城市により構成される協議会)[沖縄県豊見城市]は、2025 年 9 月 1 日(月)にオープンした「スターバックス コーヒー 那覇鏡原店」、「漫湖水鳥・湿地センター」を拠点に、株式会社オーエスディー、沖縄県内のスターバックス店舗、漫湖水鳥・湿地センター管理運営協議会にて沖縄の「自然の恵みの豊かさ」を地域とともに未来につなぐ、『つなご・みらいアートプロジェクト』を始動します。那覇市の漫湖公園鏡原側 Park-PFI 事業で、公園地域一帯を安心・安全な魅力あふれる交流拠点をコンセプトに場づくりをしている株式会社オーエスディーとスターバックス コーヒー ジャパン 株式会社、漫湖に生息する水鳥など野生生物の保護や湿地の保全、啓発活動、調査研究などを行っている漫湖水鳥・湿地センター管理運営協議会も連携し、3 者で協働していきます。



左:スターバックス コーヒー 那覇鏡原店 右:漫湖水鳥・湿地センター

### 3 者が協働する『つなご・みらいアートプロジェクト』

『つなご・みらいアートプロジェクト』は、国際的に重要な湿地を保全するラムサール条約に登録された漫湖の干潟を囲むように作られた漫湖公園を中心に、地域の皆さんにもご参加いただき、未来について一緒に考えたり、気づきの場であったり、また、ポジティブなアクションの実行等、「自然の恵みの豊かさ」を地域とともに育み、沖縄の豊かな未来を作っていきます。さらに人と生物の共存共栄のように、地域の皆さまだけでなく、漫湖公園一帯に生息する生物も含めた集いの場となるように想いを込めています。このアートプロジェクトでは、国内、さらに沖縄でも多くのオブジェ制作や展示を行い、同プロジェクトに共感いただいている「淀川テクニク」※に制作を担当いただきます。淀川テクニクはゴミや漂流物などを使い、その土地ならではのゴミや人々との交流を楽しみながら行う滞在制作をされています。この『つなご・みらいアートプロジェクト』では、制作過程の一部に、地域の皆さまにも参加いただき、アーティストに唯一無二の作品を手掛けていただきます。完成したアートは、地域の豊かな未来につなぐ絆となるシンボルオブジェとして地域での設置を予定しております。

## 『つなご・みらいアートプロジェクト』の流れについて

『つなご・みらいアートプロジェクト』のシンボルとなるオブジェのモチーフは、漫湖に生息する4つの生物を地域の皆さまの投票で決定します。投票については、「スターバックス コーヒー 那覇鏡原店」、「漫湖水鳥・湿地センター」に投票ボードを設置して、お客さまや地域の皆さまに一票ずつ投票していただきます。投票ボードに描かれている4つの生物は淀川テクニックに描いていただきました。投票だけでなく、漫湖に生息する生物についても知っていただきたいという思いを込めています。投票を終えてモチーフが決定した後、漫湖や沖縄のビーチで開催されるビーチクリーンに参加し、アートの材料となるゴミや漂流物を拾い集めます。皆さんと一緒に沖縄で拾い集めたゴミや漂流物を材料に、地域の皆さまから選ばれたモチーフのオブジェを淀川テクニックに手掛けていただきます。このプロジェクトではオブジェの制作だけでなく、制作過程を通じて地域とのつながり、参加いただく皆さまとのつながりが育まれることを大切にしております。この3者で協働する『つなご・みらいアートプロジェクト』では、スペシャルサポートとして、那覇市内の「沖縄逸の彩(ひので)ホテル」にも協力いただきます。「沖縄逸の彩(ひので)ホテル」は、「沖縄の美しい海の豊かさを支える湿地の保全のために」と漫湖水鳥・湿地センター管理運営協議会を支援されています。今回の取り組みについても賛同いただき、当プロジェクトの告知などを実施、サポートいただきます。

## 第1回『つなご・みらいアートプロジェクト』ワークショップ

このプロジェクトのキックオフとなる第1回目のワークショップを2025年10月4日(土)に「スターバックス コーヒー 那覇鏡原店」、「漫湖水鳥・湿地センター」にて実施します。

当日は、「スターバックス コーヒー 那覇鏡原店」の地域活動とコラボレーションした特別プログラムで、第1部では、「漫湖水鳥・湿地センター」で実施されるマングローブ稚樹抜き体験と採取した稚樹とスターバックスのコーヒー豆かすを材料に仕込むたい肥づくりの実験を行います。第2部では、『つなご・みらいアートプロジェクト』の説明、漫湖の生態系や生物多様性の話をした後、オブジェのモチーフの投票となります。投票はワークショップ終了後から期間限定で実施いたします。

第1回『つなご・みらいアートプロジェクト』の実行サポートとして、那覇市協働大使「たのしむぞ06(おろく)」、「沖縄県立芸術大学美術工芸学部」、「琉球大学」の学生有志の皆さまにも参加いただき実施運営をしていきます。

『つなご・みらいアートプロジェクト』では、沖縄の「自然の恵みの豊かさ」を地域とともに未来につないでいくプロジェクトとして、地域の皆さまと連携し、沖縄の豊かな未来を地域とともに育んでいきます。

### 第1回『つなご・みらいアートプロジェクト』ワークショップ実施概要

- 日時:2025年10月4日(土)9:30~13:00
- 場所:漫湖水鳥・湿地センターで集合、作業した後、スターバックス コーヒー 那覇鏡原店に移動して解散
- 内容:第1部:マングローブ稚樹抜き体験と採取した稚樹とコーヒー豆かすを材料にしたたい肥づくりの実験  
第2部:『つなご・みらいアートプロジェクト』の説明、アートのモチーフの投票
- 参加方法:事前予約制 ※詳細はスターバックス コーヒー 那覇鏡原店もしくは、漫湖水鳥・湿地センターまで



撮影：藤田和俊

※淀川テクニック（本名・柴田英昭）

2003年に大阪・淀川の河川敷を拠点として活動開始。ゴミや漂流物などを使い、国内外の様々な場所で作品を制作している。小学生の図画工作 や中学生の美術の教科書でも活動が紹介されている。近年では「国連環境デー」や「G20」など、アートのみならず、環境に関するイベントでの展示も多い。2019年3月にオープンしたスターバックス コーヒー 沖縄本部町店のアート「もとぶフローミー」を海の漂流物を材料に手掛ける。

<http://yukari-art.jp/jp/artists/yodogawa-technique>